

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業の実施

方向性	適切な生活支援と介護予防を一体的に提供することで、高齢者がいきいきと生活できる環境づくりを進めます。
取り組み	<p>リハビリテーション専門職等を活用した市独自の介護予防・生活支援サービス事業では、要支援認定者等の心身の機能を引き上げる効果的なサービス提供を継続します。また、自身の状態を確認できる測定等の実施体制を構築し、測定データを活用して、元気を取り戻した高齢者がその状態を維持できるよう、身近な場所での自主的な介護予防活動を支援します。</p> <p>また、「元気づくり・地域づくりプロジェクト」では、地域と共に考え、効果的な方策の具体化につなげるなど、高齢者の社会参加を促進し、支える体制づくりに継続して取り組みます。</p> <p>《目標値》 第7期計画期間（平成30～32年度）の目標 ひらかた元気くらわんか体操の実施グループ数 185グループ（平成30年度実績：192グループ） ひらかた元気くらわんか体操の実施グループ参加者のうち歩行機能が改善した人の割合 70%（事業開始時の初期値：44.2%） 平成31年度当初予算： 1,493,242千円</p>

9月末の
進捗状況
【〇】

リハビリテーション専門職等を活用した市独自の介護予防・生活支援サービス事業については、効果的なサービス提供を継続しつつ、身近な場所での自主的な介護予防活動の拡充に向け取り組みを進めてきました。

また、「元気づくり・地域づくりプロジェクト」では、地域の特性に応じた様々な取り組みや活動内容から、具体的な支援方法の検討を進めます。

《ひらかた元気くらわんか体操の実施グループ数：269グループ》

(2) 認知症施策の推進	
方向性	認知症高齢者が尊厳を持ち、できる限り住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう、認知症に対する正しい知識を普及するとともに、ニーズに沿った支援と権利擁護の取り組みを進めます。
取り組み	<p>認知症サポーターの養成を継続するとともに、市内で活動している認知症カフェの交流会を開催するなど、「認知症にやさしい地域づくり」に向けた取り組みを支援していきます。</p> <p>また、早期の支援につなげるため認知症初期集中支援チームの周知と活用を図るとともに、すべての高齢者サポートセンターに認知症地域支援推進員を継続して配置し、地域の実情に応じた相談支援を行います。</p> <p>更に成年後見制度の普及や市民後見制度の整備を進め、関係機関と連携して消費者被害や高齢者虐待等の発生の予防・早期発見から必要な支援につなげていきます。</p> <p>《目標値》</p> <p>認知症地域支援推進員の配置数 19人 (平成30年度実績：17人)</p> <p>平成31年度当初予算： 15,381千円</p>

9月末の進捗状況【O】	<p>認知症サポーター養成講座は、9月末までに18回開催しました。引き続き、養成とともに認知症地域支援推進員の増員に取り組んでいきます。</p> <p>また、消費者被害防止や成年後見制度の普及を図り、市民後見制度の整備に向けた関係機関との連携強化、権利擁護の推進に努めています。</p> <p>《認知症地域支援推進員の配置数：17人》</p>
--------------------	---

(3) 在宅医療・介護連携の推進	
方向性	高齢化の進展に伴い、医療と介護の両方の支援を必要とする高齢者の増加が予測されています。高齢者が安心して在宅生活を送ることができる環境整備を目指し、医療と介護の円滑な相互連携を図ります。
取り組み	<p>医療・介護の関係者で構成する「地域ケア推進実務者連絡協議会」や、高齢者サポートセンターを中心とした多職種連携の研修などを通して、相互理解の取り組みを進めます。また、医療・介護専門職向けの在宅医療・介護連携支援の電話相談窓口の受付時間帯を拡大するとともに、より効果的な実施方法を検討していきます。</p> <p>また、市民が人生の最期の過ごし方を選択し、地域で安心して生活することができるよう、在宅における看取りの普及啓発を行うとともに、身寄りのないひとり暮らしの高齢者等についても、緊急時にご本人の意思が尊重されるような支援のあり方を検討します。</p> <p>《目標値》</p> <p>地域ケア推進実務者連絡協議会等の開催回数(部会を含む) 27回 (平成30年度実績：27回)</p> <p>平成31年度当初予算： 41,913千円</p>

9月末の 進捗状況 【○】	<p>医療・介護専門職向けの在宅医療・介護連携支援相談窓口の受付を週1回から週3回へ拡充するとともに、ご本人が人生の最期の過ごし方を選択し、地域で安心して生活することができるよう、在宅における看取りを啓発する手引きを配付しました。あわせてご本人の意思が尊重される支援ができるよう手引きを解説した専門職向けのパンフレットの作成にも取り組んでいます。また、地域課題に応じた医療・介護の専門職を対象とした研修及び市民啓発の講座等の開催に向け準備を進めています。</p> <p>《地域ケア推進実務者連絡協議会等の開催回数（部会を含む）：8回》</p>
------------------------------	---

(4) 高齢者お出かけ推進事業の実施	
方向性	高齢者が外出する機会を増やすための後押しやきっかけとなる仕組みとして実施し、人と人との交流・社会参加の促進・生きがいつくり・健康づくりに資する活動を通じた健康寿命の延伸や介護予防の推進を図ります。
取り組み	<p>高齢者お出かけ推進事業では、ポイント付与対象事業に参加した市民が、高齢者お出かけ推進手帳に高齢者専用ポイント（シール）を貯めて、京阪バスポイントへの交換や市内協力店舗での買い物で使用できる「ひらかたポイント」や、楽寿荘及び総合福祉センターの使用料として使用できる「高齢者お出かけ推進チケット」に交換することができます。この仕組みにより、自主的かつ継続的な外出をしていただくことで、介護予防の推進と健康寿命の延伸につなげることを目指します。</p> <p>また、ポイント付与対象事業の追加、高齢者お出かけ推進チケット活用先の追加、ポイント交換場所の増設など、事業の拡充に向けて検討を進めます。</p> <p>《目標値》</p> <p>高齢者お出かけ推進手帳配付部数 20,000部</p> <p>高齢者へのポイント付与数 9,674,000ポイント</p> <p>平成31年度当初予算：1,366千円</p>

9月末の 進捗状況 【△】	<p>平成31年4月から事業を開始し、楽寿荘の教養講座や総合福祉センターの各種講座をはじめ、介護予防イベントや健康づくりにつながる講座などのポイント付与対象事業の参加者に対し「高齢者お出かけ推進手帳」を配付し、高齢者専用ポイントまたはひらかたポイントを付与しています。</p> <p>引き続き、ポイント付与対象事業の追加、高齢者お出かけ推進チケット活用先の追加など、事業の拡充に向けて検討を進めます。</p>
------------------------------	--

(5) 広域型特別養護老人ホームの増築等や地域密着型サービスの整備

方向性	介護を必要とする高齢者の増加を踏まえ、広域型特別養護老人ホームの増築等や、地域密着型サービスの整備に向けた取り組みを進めます。
取り組み	<p>ひらかた高齢者保健福祉計画 21（第7期）に基づき、平成30年度に整備事業候補者を選定した広域型特別養護老人ホームの増築等や、地域密着型特別養護老人ホーム・看護小規模多機能型居宅介護等の整備に向けた進捗状況を確認するとともに、引き続き、小規模多機能型居宅介護などの地域密着型サービスや特定施設入居者生活介護等の整備を行う事業者を公募し選定します。</p> <p>《目標値》</p> <p>第7期計画期間（平成30～32年度）の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ●既存広域型特別養護老人ホームの増築等 95床 ●地域密着型特別養護老人ホーム 58床（87床） ●小規模多機能型居宅介護 2か所（2か所） ●既存グループホームの増築等 36床（18床） ●特定施設入居者生活介護 70床（60床） など <p style="text-align: right;">※（ ）内は第6期（平成27～29年度）実績</p> <p>平成31年度当初予算：596,077千円</p>

9月末の進捗状況【○】	<p>平成30年度に整備事業候補者を選定した広域型特別養護老人ホームの増築等95床分のうち、ショートステイ床からの転換15床分の整備が完了したことを確認するとともに、地域密着型特別養護老人ホーム・看護小規模多機能型居宅介護等の整備に向けた進捗状況を確認しました。また、特定施設入居者生活介護や地域密着型サービスの整備に向けて、6月に整備事業候補者の選定に関する説明会を開催し、9月に申請受付を行いました。</p> <p>引き続き、枚方市介護保険施設等整備審議会を開催するなど、整備事業候補者の選定を進めます。</p>
--------------------	--